

嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	小児 vs 成人の薬剤インシデントの特徴比較 ー単施設後ろ向き観察研究ー
研究責任者 (所属名)	麻酔・緩和医療科 山田 康貴
本研究の目的	院内では薬剤に関連するインシデントが複数報告されており、薬剤の用量や投与速度に関する誤りに加え、処方・調剤といったプロセスに起因する事例も少なくないです。小児（15歳未満）と成人（15歳以上）における薬剤関連インシデントの特徴や背景因子の違いについては、十分に明らかになっていません。本研究の目的は、小児と成人における薬剤インシデントの特徴および背景因子を明らかにすることです。両者の違いを明確にすることにより、重大なインシデントにつながる事例を未然に防止できる可能性が期待されます。
調査データの該当期間	2024年4月1日から2025年3月31日まで
研究の方法 (使用する試料等)	2024年4月1日から2025年3月31日までに当院のインシデントレポートに報告されたデータを収集します。調査項目として、患者の年齢、発生場所、時間帯、重症度分類、インシデントの内容分類について検討します。インシデントの内容分類で「薬剤」の項目に関して薬剤の剤形やインシデントの内容、発生要因についてのデータを集積します。小児（15歳未満）と成人（15歳以上）の2グループに分け、それぞれのグループで薬剤に関する院内インシデントの特徴や背景因子を明らかにします。 ※「インシデント」とは、医療の現場で起こった「ヒヤリとした出来事」や「ミスにつながりかけた出来事」のことを指します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120（代表） 担当者：
備考	麻酔・緩和医療科 山田 康貴